

第3章

寄宿舎の研究

1 研究の概要

(1) 研究主題

「卒後を見据えた生活力を高める指導」

(2) 設定理由

近年の卒業生の実態から、社会への移行期にある生徒には自己認知能力、コミュニケーション能力の向上が求められている。さらに寄宿舎生活の中では自立に向けた生活スキルの獲得が求められ、その行動の意義を十分に理解した上で自分らしい生き方を実践できるよう、卒業後の生活を見据えた自己管理能力を高める生活指導の充実に努めたい。

また、昨年度の寄宿舎研究では、職員一人一人が指導のねらいを意識し、個々の指導に当たることができるよう個別の指導計画作成の際の指導観点の見直しを行った。今年度、検証を行い、生徒一人一人に応じたより良い指導計画を作成し指導力の向上を目指したい。

以上のことから、生徒自らが卒業後を具体的にイメージし、実践できるよう本主題を設定した。

(3) 研究の内容と方法

① 全体研修での共通理解

- ・学校で行われる全体研修会へ参加し、理解を深める。
- ・長期休業中に研修会を計画し、キャリア教育の在り方について共通理解を図る。

② 事例研究

- ・男子棟を A～C グループ、女子棟を D～F グループとし、対象生徒をグループごとに1名抽出する。生徒の個々の実態に応じた課題に対して、どのようなスキルを身につけることが求められ、それに対してどのようにアプローチしていくか考察する。
- ・研究主題は『卒後を見据えた生活力を高める指導』とし、副題は各グループごとに設定、生徒の実態に応じた目標を設定する。

(4) 推進日程

- 5月…対象生徒抽出
- 6月…グループ協議、寄宿舎研修会議（全体発表・協議）
- 9月…グループ協議(指導経過)
- 10月…寄宿舎研修会議（中間発表・協議）
- 1月…グループ協議(結果及び考察)
- 2月…最終報告

事例報告

『自制心を養い、見通しを持って社会生活を送るための指導』

報告者 Aグループ（伊藤亮、竹端賢一、猪瀬雅法）

1 事例対象生徒

- ・学科 農業科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…知的障がい

2 対象生徒の実態

(1) 基本的生活習慣

- ・身辺処理についてはほぼ一人で言うことができるが、整理整頓では余暇を優先して丁寧に行わないことや洗濯物を干すことを後回しにすることがある。
- ・身だしなみを整えることはできるが、髪を染めたりカラーコンタクトレンズをつけるなど、過度に身なりにこだわることもあり、場に適した服装をすることが難しい場面がある。
- ・帰省中は、生活リズムが不規則になることがある。

(2) 社会性

- ・感情や欲求を自制することが難しく、決まりやマナーを意識できないことがある。
- ・親しく感じている相手には、目上であっても敬語を使わないことや体に触れることがあり、場面に応じた言葉遣いや関わりが難しいことがある。
- ・活動的であり、交通機関や公共施設を積極的に利用できる。
- ・携帯電話を所持しており、帰省中には頻繁に使用している様子であるが、SNSの使用状況やインターネットの危険性の理解度については不明である。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

(1) 家庭での様子

- ・家庭では姪の面倒を見るなど手伝いをしている。
- ・保護者の意向としては一般就労を希望している

4 課題の設定及び指導仮説

(1) 実態の整理

- ・身辺処理についてはほぼ自立しているが、自分の都合を優先してしまうため、丁寧な活動をしていないことや帰省中の生活リズムが不規則になってしまうことがある。
- ・感情や欲求を自制することが難しく、不適切な関わりをすることや決まりを守れないことがある。

(2) 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「自制心を養い、見通しを持って社会生活を送るための指導」

(3) 指導仮説

本生徒は身辺処理はほぼ自立しているが、感情や欲求を自制することが難しいため、決まりやルールを守れないことや不規則な生活を送ることがあり、対人関係についても不適切な関わりになることがある。また、積極的に地域社会で行動できるが、社会規範に対する意識を持つには至っておらず、またインターネットなど社会生活上の危険についての理解度については不明である。

社会生活を送る上での知識やマナーと共に社会生活上の危険について教えていき、自制心の必要性の理解を深めて行くことで、見通しを持って適切に社会生活を送るスキルが身につくと考える。

5 指導内容及び方法

(1) 社会生活に対する知識を深める

- ・卒業後の生活リズムや長期的な生活スタイル（仕事、余暇、免許、貯金、結婚など）について本人の考えを聞き、必要な知識を伝え、より良く生活を送るための助言を行う。
- ・卒業生や職員の生活スタイルの話を伝え、卒業後の生活の仕方に対する考えに広がりを持たせる。
- ・帰省中のスケジュールを考えさせ、実際に過ごす日を設定する。その後、感想を聞き助言をする。

(2) コミュニケーション、マナーの指導

- ・場に合った話の仕方、関わり方や礼儀作法について日常的に指導すると共に、ワークシートを利用して指導し、理解を深める。
- ・社会生活における様々な状況での適切な服装や身だしなみについて伝える。

(3) 社会生活上の危険の理解

- ・携帯電話の使用状況について確認し、誤った使い方があれば適切な使用方法を伝える。
- ・SNSやインターネットがもたらす危険性について、事例を基に伝え適切に使用できるよう指導する。
- ・新聞などを活用し、一般社会における若者が関係する事件を伝え、被害に遭わないための生活の仕方や危機管理について指導する。

6 指導経過

(1) 社会生活に対する知識を深める

- ・本人の実態を知るために卒業後の生活スタイルについてアンケート様式のプリントを作成し、記入してもらい実態把握を行った。その結果、具体的に卒業後の生活についてイメージできていないことが分かった。特に仕事に対する考えの中で不安を感じるところがあった。現在目指している水産の仕事を4、5年働いて、その後車を使う仕事に就きたいという内容だった。車を使う仕事については水産の仕事でもあることを話し、仕事をしながら自動車学校に通うことは大変であること、免許取得にはお金がかかることについて話をした。しかし本人は簡単に転職できていると思っているため、就労に対する基本的な考え方について改めて指導する。

(2) コミュニケーション、マナーの指導

- ・コミュニケーションの指導について、生活の場で敬語を使えていないときにはその都度言い直しをさせて指導してきたが、特に前提実習が近づいたときには敬語の必要性について指導した。今後はワークシートを利用して指導していく。
- ・結婚式に参加する際の服装について、普段着ではなくスーツなどを着用するというような最低限の知識があることが分かった。今後は社会生活における様々な状況での適切な服装（出勤時の服装、普段着、礼服など）身だしなみ（頭髪、装飾品など）について指導していく。

(3) 社会生活上の危険の理解

- ・携帯電話の使用状況についてアンケート様式のプリントを作成し、記入してもらった。ゲームやインターネット、動画を見ていたりネットショッピングで買物をしたりしていることが分かった。月々の支払料金が1万5千円くらいで内訳を確認すると基本料金や通話料金以外にも課金をしていることが分かった。今後は携帯電話会社から提供されている資料を基に指導していく。
- ・SNSやインターネットの危険性については、学校での指導もありSNSに関する危険について最低限の必要な知識は理解していた。しかし卒業後には使用頻度が上がり危険が増すことが予想され、インターネットの危険については理解が不十分なところがあるため、知識や理解を深める為に過去の事例を基にしたプリントを作成し、指導していく。

7 結果及び考察

(1) 社会生活に対する知識を深める

- ・就職に対する知識の中で一番、不安と思われた点が簡単に転職できるという部分であった。本人にはアルバイトの感覚で転職ができるようなイメージを持っていた部分があったため、正職員として採用されるのは簡単なことではないことや自分が辞める事で会社や同僚に迷惑をかけてしまうことを指導した。現在は、同じ職場で長く仕事を続けていけるようにと考えを改めることができた。
- ・免許を取得したいということについては、仕事をしながら自動車学校に通うことは大変であることやお金が必要になるため、給料から貯金しておくことが必要であることを指導した。免許を取得することで車を扱った仕事もできるようになり、会社からも戦力として認められることや仕事で使用する特殊な車両の免許があること、私生活においても休日に車で出かけることができるなど、生活の幅も広がる事が理解できた。

(2) コミュニケーション、マナーの指導

- ・敬語については場面に応じ、はじめをつけて使用することができているが、本人が親しみを感じている人に対しては友達言葉で話してしまうことがあった。
- ・ワークシートを活用して、相手の本当の気持ちを察することや場面ごとにどのような言葉を相手にかけるべきなのかの判断をすることができていた。

※資料1参照

- ・TPOや季節、天気に応じた服装を選べるようにワークシートを活用して指導を行った。元々服装について興味があるため、身だしなみや適切な服の選び方については理解できていた。その日の状況に応じた服装についても判断して服選びをすることができるが、当日の天気や季節を考えて選んでいないということを自己認知できていた。自分が着るサイズについては把握していたが、少し大きめの服を選ぶ傾向にあった。今回、指導を行うことで服装の選び方についてさらに理解を深めることができた。

※資料2、3参照

(3) 社会生活上の危険の理解

- ・アンケートに記入してもらい携帯電話の使用状況について確認したところ、日常的な通話の他SNSの利用、ネットショッピングやゲームなど様々なサービスを利用している状況であることが分かった。

現状では誤った利用はしていなかったが、ネットに関わるトラブルについての理解度について携帯電話会社から提供されている資料(80p8項目)を基に確認をしたところ、トラブルの内容については理解しているものの、自分に起こるかも知れないという危機感は薄く、予防や対処法については理解が足りない部分があった。よって資料(10~11)を基に具体的な事例を示し、卒業後の生活に結びつけながらトラブルの危険性や対処法について指導した。指導後は携帯電話を慎重に使っているとの話もあり、理解を深めた様子が見られた。

※資料4~7参照(80pから抜粋)

本生徒は、卒業後は一般就労をしてグループホームで生活し、将来的には一人暮らしをしたいという希望を持っている。寄宿舍や帰省中の家庭での生活においては、身辺処理などは問題なく行えているが、卒業後に自立して生活を送る上では、どのような課題があるのかを本生徒自身では認識できていない様子が見られた。

指導を通して、卒業後の生活について具体的にイメージできるようになり、社会生活を送る上での必要な知識や考え方について理解を深めている様子が見られた。今回の指導を実際に卒業後の生活で活かせるよう、卒業までの期間にさらに指導を進めていきたい。

53

「遠慮ことば」や「謙遜ことば」
「卑下することば」に気づこう

会話の中で自分のいい面やしたいことを過度に（強調して）伝えるとじまんしているとか自己中心的と思われることがあります。

そのため、やりたいことを言わなかったり＝「遠慮」、うまくできたことやほめてほしいこともわざとよくないようにいうこと＝「謙遜」して言うことがあります。また、自分の苦手な面をはげましてもらったり、大目に見てもらうために自分から自分を悪く言う＝「卑下」することもあります。

以下の場面でAさんの本心（本当の気持ち）はどんな気持ちなのでしょう。また、そんなAさんは何と言ってほしいのでしょうか。

場面	Aさんの気持ち	Aさんは何と言ってほしいのでしょうか。
①友だち3人でピザを食べていた。ピザが大好きなAさんが2枚残ったピザを見て「食べていいよ」と言った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「や、食べ ていいよ」
②体育で100メートル走の記録を測った。クラス最高記録を出したAさんは「まぐれ、まぐれ」と首を横に振った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「やた じやん」
③スピーチが苦手なAさん、発表が終わって「全然、ダメだった～失敗ばかり」と言った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「良かったよ」
④書き初めが掲示された。字を書くのが苦手なAさんは自分の作品を見て「まじやべ～終わってる！」と言った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「た、いいじゃん 良く書けてるよ」
⑤合唱コンクールのピアノ伴奏がオーディションの結果、決まったAさんが「本当に私で大丈夫かな～」と言った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「大丈夫さ、 はいはい」
⑥顧問の先生がおみやげに絵八ガキをくれた。Aさんが「これかっこい～」と言った1枚を見てBさん「おれこれにする」Aさんは「えっ、ああいいよ」と言った。	・遠慮 ・謙遜 ・卑下	「これかっこいい Aさんこれ よけよう」

「あたまと心で考えよう

SSTワークシート思春期編

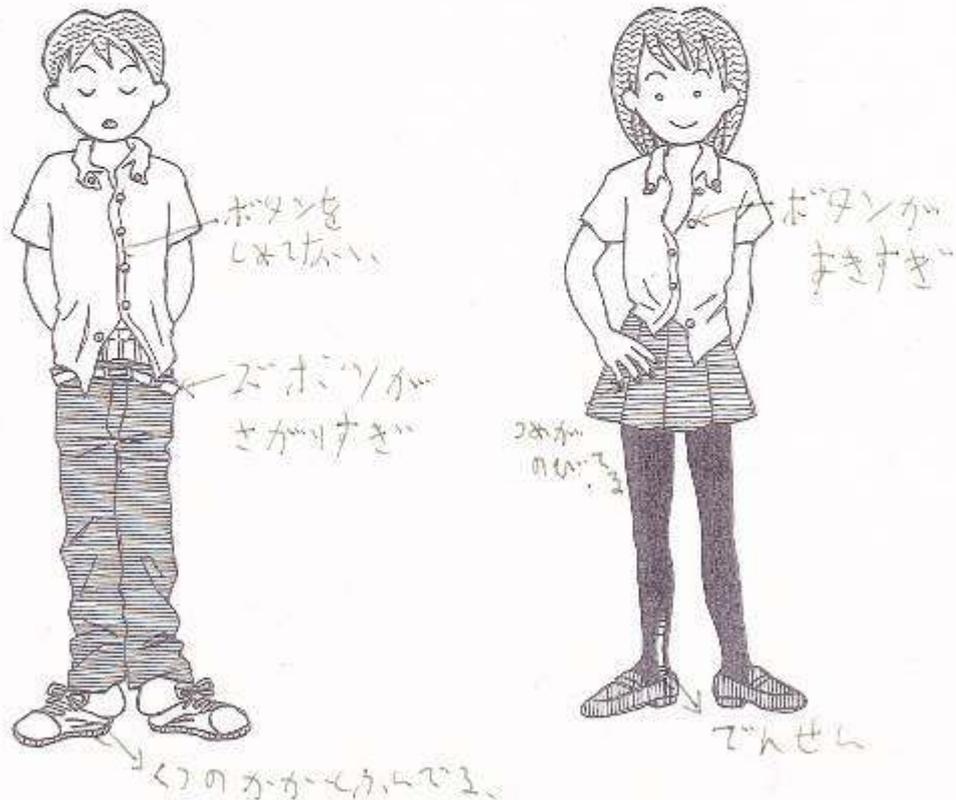
NPOフトゥーロLD発達相談センター

かながわ2012 より

8 ^{ふく そう} 服装・身だしなみ **変なところ見つけ**

AさんとBさんは、下のイラストの格好で学校説明会に行く予定です。

下のイラストを見て、身だしなみがおかしいと思うところに×印をつけ、AさんやBさんが学校説明会へ行くのにふさわしい格好になるように、アドバイスをしてあげてください。



「あたまと心で考えよう」
SSTワークシート思春期編」
NPOフットーロLD発達相談センター
かながわ2012 より

7 服装・身だしなみチェック

毎日着る洋服はだれが選んでいますか？ 自分で洋服を選ぶことは大切です。自分で選ぶ習慣をつけることで、TPO（場所や会う人、機会）や季節・天気にあった格好ができるようになってきます。

大人になったとき、その場にあった服装が選べ、相手により印象をあたえられるように少しずつ、自分で洋服を選んだり、買ったりする練習をしていきましょう。

1. どのくらい、身だしなみについて考えていますか？ あてはまるところに ○ をつけましょう。

質問	いつもできている/そのとおり!	だいたいいつもできている/まあまああてはまる	言われたらできる/あまりあてはまらない
① 汚れたりほつれているもの、ボタンが取れているものなどは着ていない。	<input type="radio"/>		
② 毎日着る服は、自分で選んでいる。	<input type="radio"/>		
③ 自分で服を買ったことがある。	<input type="radio"/>		
④ 出かける前には、自分の格好を鏡で確認してから出かける。	<input type="radio"/>		
⑤ 身だしなみについて、周りの人から言われることはない（「シャツが出ているよ」など）。	<input type="radio"/>		
⑥ 天気や季節を考えて、毎日着る服を選んでいる。		<input type="radio"/>	
⑦ その日の状況（場所や会う人）に合わせて、服を選んでいる（例えば…発表会や面接）。	<input type="radio"/>		

2. 自分の洋服の好みは？

① 好みの色	田舎
② 好みの洋服のタイプ	シャツ
③ 好きなサイズ感（着こなし）	ピタッとしている・ダボッとしている

3. 自分の洋服のサイズをどれくらい知っていますか？ チェックしてみよう。

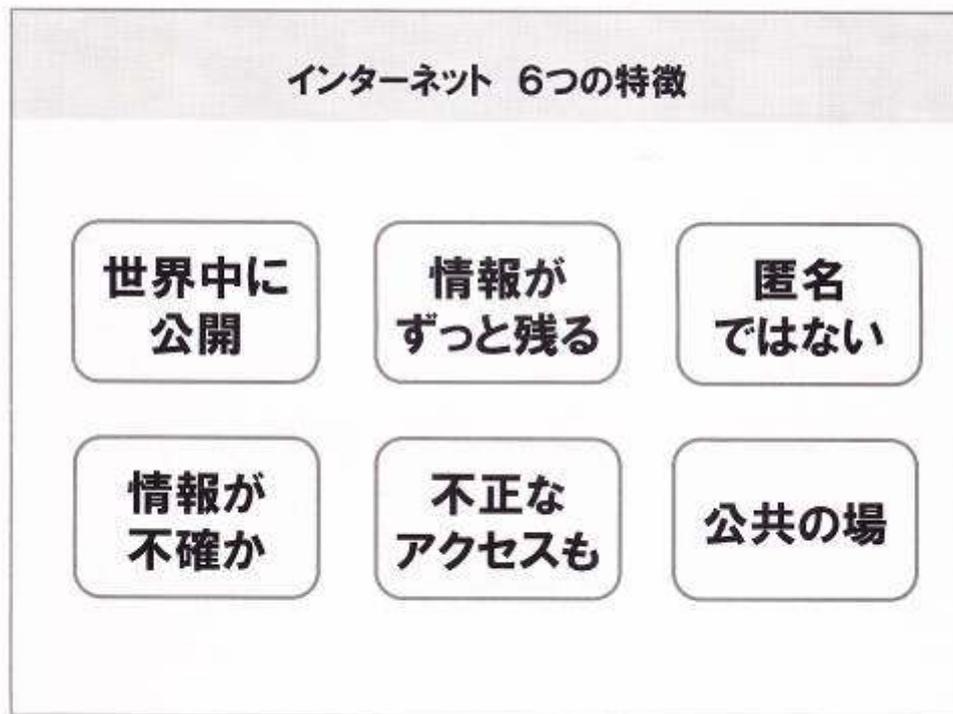
上着・トップス （Tシャツ・シャツ・ジャケットなど）	() cm・S・M・L・LL (XL) サイズ 7号・9号・11号・13号
ズボン	S・M・L・LL (XL) サイズ ウエスト () cm
下着（パンツなど）	S・M・L・LL (XL) サイズ
足（くつ）のサイズ	(2.5) cm

「あたまと心で考えよう

SSTワークシート思春期編

NPOフットーロLD発達相談センター

かながわ2012 より



公開・発信するときは

- ◆ **個人を特定できる情報が含まれていないか**
- ◆ **家族に見せられないことや誰かを傷つけるようなことをしていないか**

後悔しないため、安易に行動したり、書き込んだりせず、発信前に必ず確認しましょう。



文字だけのコミュニケーション

- ◆ 気持ちが伝わりにくいこともある
- ◆ 短文でのやりとりは言葉が
足らず誤解されやすい
- ◆ 思ったことをそのまま文字に
すると、きつい文章になりやすい
- ◆ 文字として残ることで
悪感情も引きずってしまう



まとめ

ネットスキルを
身につける

周囲に迷惑を
かけない

フィルタリング
サービスを設定する

困ったときは
すぐに相談する

- ◆ 家族と相談してルールを決め、
決めたルールを守りましょう。
- ◆ スマホ・ケータイを持つときは「責任」も
持ちましょう。



事例報告

『卒業を見据えた生活の指導について』

報告者 Bグループ（上田武、和田雅史）

1 事例対象生徒

- ・学科 生活家庭科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…自閉症、軽度の知的障害

2 対象生徒の実態

(1) 基本的な生活習慣

- ・基本的には身辺処理は自立しているが、丁寧さに欠けるところが多く、職員の確認が必要である。
- ・就寝時間が過ぎても寝られず、廊下にてでてくることがある。
- ・入浴の際、洗い忘れ、洗い残しがあるため、確認が必要である。
- ・忘れ物が多く、確認が必要である。

(2) 社会性

- ・人と話すのを好むが、過度の関わりを持つことで他生徒とトラブルになることがある。
- ・自分の非を認めず、自分の意見を通そうとする様子が見られる。
- ・自分の気持ちをすぐに言葉に出してしまうため、相手を傷つけることがある。
- ・精神的に不安定になると話しが止まらず、落ち着かない様子が見られることがある。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

- ・母親と祖母と一緒に暮らしていて、母親が仕事に行っているときは、祖母が様子を見ている。
- ・食器の片付けや掃除機をかけることがたまにある。

4 課題の設定及び指導仮説

(1) 実態の整理

- ・身辺処理は丁寧さに欠けることが多く、定着していない。
- ・睡眠時間が不規則で夜間、廊下にてでてくることがある。
- ・忘れ物が多く、職員で確認する必要がある。
- ・他生徒と関わりたい気持ちが強いいため、自分から関わろうとするが、不適切な言動をとることがあるため、トラブルになることが多い。
- ・自分の気持ちをすぐに言葉に出してしまうため、相手を傷つけることがある。

(2) 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「卒業を見据えた生活の指導について」

(3) 指導仮説

- ・本生徒は集団生活が初めてで慣れない生活が続き、生活リズムが乱れ、夜間あまり寝ないことで、落ち着かない様子が見られるようになってきた。また、身辺処理全般においても経験不足から丁寧に行うことが難しかったり、定着していないことが多い。これまでは、不適切な関わりや身辺処理に関わる課題について、場面に応じた言葉かけや確認をする指導を中心に行ってきたが、その場限りの指導になってしまうことが多く、継続して行うまで至っていなかった。生活リズムを安定させ、落ち着いた環境を作り、視覚的に分かりやすい支援を用いて身辺処理の指導を行うことで、身辺自立の向上が図れると考える。また、能力に応じたコミュニケーショントレーニングを積むことや経験させることで課題を解決できると考える。

5 指導内容及び方法

(1) 生活リズムを安定させる。

- ・夜間、寝ないことがあるので、環境を整え、起床、就寝時間を決めて睡眠時間を安定させる。
- ・睡眠時間や食事量などの日々の記録を記入し、職員間の情報交換、生徒の実態や特徴を理解し、指導に役立てる。
- ・家庭でも出来る限り協力してもらうように伝えていく。

(2) 1日の流れを理解する。

- ・下校後からの予定を視覚的にわかりやすいものを用意し、職員と確認する。
- ・下校後、翌日の準備や入浴準備、洗濯をしてから、余暇を過ごす。

(3) 相手の立場になって考える指導をする。

- ・ワークシートを用いて自分の性格、特徴を知る。
- ・SSTを用いて、コミュニケーションスキルの向上や、相手の考え方の理解を知る。

(4) 学校、寄宿舎、家庭の連携

- ・情報を共有し、必要に応じて医療関係も受診してもらい、経過を見て指導方針を考えていく。

6 指導経過

(1) 生活リズムを安定させる。

- ・4月当初、妄想話や独り言が多く、夜間、用事もなく廊下にてできたり、他生徒とのトラブルが多かった。また、4月27日の夜に他生徒のベッドに入って身体接触をしていたりする様子があり、5月6日～5月8日まで特別指導に入り、個室対応で指導を行った。特別指導後もしばらく就寝場所を2階宿直室に移動し、起床(6:45)、就寝時間(21:00)と決めて睡眠時間が安定するまで個別対応を行った。就寝場所を個室対応することで一旦、夜間、用事もなく廊下に出てこなくなり、就寝時間も安定してきた。しかし、5月末から再び、夜間廊下に何度も出てきたり、生徒間のトラブルも増えてきたため、6月10日に八雲の病院に受診する。双極性障害の疑いと診断され、エビリファイ錠(抗精神薬)を処方される。就寝前に薬を服用することで、夜間トイレ以外は廊下にてでることが少なくなってきた。5月以降、就寝場所を2階宿直室で就寝していたが、6月からの薬の服薬以降、7月上旬まで睡眠が安定してきていたため、7月7日から就寝場所を部屋に戻している。

その後、1学期は部屋で就寝したが、トイレ以外は廊下に出てきたり、自分のベッドから出てくることなく、就寝することができていた。

- ・ 8月5日に、自宅で突然倒れ、精密検査の結果、てんかんと診断を受ける。薬もテグレトール錠を朝夕服用することになる。8月19日の帰舎以降、てんかん発作がいつ起きてもおかしくない状態だったため、日中も職員が対応できる範囲での行動を制限し、就寝場所も2階娯楽室へ変更し、職員が側について様子を見ることになる。最初は職員が側にいるので寝付けない様子もあったが、8月23日以降は睡眠が安定してきている。てんかん発作も8月5日以降は今現在、起きていてない。てんかんの症状や躁うつ状態を見て、就寝場所などの環境を変えたり、医師の診断を聞きながら様子を見て指導していく。
- ・ 毎日、睡眠時間、食事量、本人の様子を記録してきた。(資料1、2、3) また、学舎で日々の様子を共有できるように、連絡ノートを記入し、情報を共有してきた。睡眠時間が少なかったり、食事を残したりすると、落ち着かなくなる傾向があったり、だいたい1ヶ月周期で、テンションが高い(廊下を走ったり、他室への出入りが多かったり、口数が多かったりするなど) 日がでてくる傾向が見られる様子があった。テンションが高い様子がでてきたら、全体に周知し、対応してきた。今後も日々の記録を取り、情報を共有できるようにしていく。
- ・ 日々の様子や就寝の様子を家庭にも伝え、自宅でも生活リズムを乱さないようお願いしてきた。起床、就寝時間については、寄宿舎と同じようにしていただいている。

(2) 1日の流れを理解する。

- ・ 1日の予定が分かるように5月の特別指導から細かい日課のプリントを提示し、指導してきた。最初はプリントをみながら行動していた。5月末以降、寄宿舎生活にも慣れてきたのか、プリントを見なくても、周りの動きを見て時間を確認して日課に沿って行動できていたため、提示をしなくて指導してきた。日課についてはほぼ理解できている。
- ・ 4月当初、忘れ物が多く、下校後、翌日の準備や入浴準備、洗濯など職員と確認して指導してきた。6月以降、職員が確認しなくても自分で準備する様子が見られたため、職員が側に付かずの様子を見てきた。6月以降は忘れ物もほとんどなく、準備については定着してきている。ただ、9月以降、テンションが高くなると、制服の中に着る下着のシャツがロッカーに入っているにも変わらず、ないと嘘を言って違うTシャツを着て登校しようとする様子があり、職員間の情報共有と、再度ロッカーを確認するように伝え、指導している。

(3) 相手の立場になって考える指導をする。

- ・ 9月9日にワークシートを用いて自分の性格を知るために「自分のデータづくり」をテーマに学習した。難しい質問内容には職員と一緒に考えながら記入している。自分の性格について考えることで、自分の特徴や興味関心、長所や短所を知ることができた。(資料4)

2回目の学習会では、ワークシートを用いて「自分では気づきにくいけれど人は気にすること」をテーマに、習慣になっていて自分では気づきにくいことや変えた方がいい行為について学習した。衛生面について、自分の臭いを気にしないことや爪を噛む行為があり、衛生面についての課題を知り変えるべき行動だと理解を深めることができた。また、自分の癖についても、無意識のうちに髪を触っていることがあり、課題を知ることができた。(資料5 図

3回目の学習会は、ワークシートを用いて「自分の性格やタイプを考えてみよう」をテーマに自分の性格を2つの性格やタイプを比べて、どちらが近いが考える学習をした。長所の特徴と短所的な特徴を2つのタイプから考えることで、より細かい自分の性格を知ることができている。(資料5 図2)

4回目の学習会ではワークシートを用いて「いろいろな気持ち」をテーマに、気持ちを表す言葉には、プラスとマイナスの感情を表す言葉について学習した。また、気持ちを表す言葉には、人によって違うとらえ方があることを、他生徒とロールプレイすることで知ることができた。(資料6)

(4) 学校、寄宿舎、家庭の連携

- ・学舎では8月以降、連絡ノートを活用し、日々の様子について共有した。また、指導の変更や医師からの診断を受けて支援会議を開き、指導方針を考えてきた。病院の通院の際は、学舎での様子や睡眠の状態、食事の摂取などまとめたプリントを保護者に渡して、情報を共有した。

7 結果及び考察

(1) 生活リズムを安定させる。

- ・2学期以降、発作の対応のため、職員付添のもと、2階娛樂室で就寝した。就寝時間を安定させ、時間通り就寝することで、夜間は起きることはほとんどなく、朝まで就寝することが多くなってきた。夏季休業中に発作が起きてから、それ以降は発作もなく過ごしている。就寝時間も安定してきていたので3学期から2階宿直室に就寝し、職員が側に着かない状態で様子をみている。夜間、徘徊したり、就寝リズムが乱れる様子もなく過ごしている。テンションが高い状態も減ってきているが、行事前後や月に数回、口数が多かったり、妄想話しをしたり、他生徒とトラブルがあった。テンションが高い様子があれば、学校、寄宿舎が情報を共有し、全体に周知して対応してきた。今後も学舎での情報共有は必要である。全体を通して入舎当初から比べて一日を通して、生活リズムは安定してきている。

(2) 1日の流れを理解する。

- ・日課の理解は早い段階から理解し、自ら行動できるようになってきている。日課に遅れたりすることはなくなってきたが、やりたいことを優先してしまう傾向にあるので、やるべきことを済ませて遊ぶように今後も指導していく必要がある。また、長期休業明けに忘れ物があったり、翌日の荷物の準備がしていないことがあるので、長い休み明けは確認が必要である。

(3) 相手の立場になって考える指導をする。

- ・ワークシートを用いて、自分の性格や相手との考え方の違い、価値観の違いについて学習した。

自分の性格についての理解を深めることができ、相手との考え方の違いや同じ言葉でも人によって違うとらえ方があることを知ることができた。今後もコミュニケーションスキルの向上できる学習をしていくことで、相手の気持ちを理解し、行動できる場面が増えていくと考える。

考察として、今回の事例研究は、入舎当時、生活リズムの乱れや他生徒とのトラブルが多

く、集団生活に送るのに課題があり、「生活リズムを安定させる。」「1日の流れを理解する。」「相手の立場になって考える」の3点に絞って指導を行ってきた。就寝時間を安定させることで、夜間の徘徊がなくなり、生活リズムを整えることができるようになってきた。途中、発作があり、職員が夜間側にいる状態で就寝していたが、現在は一人で就寝し様子を見ている。しかし、部屋で就寝する経験はまだ少ないので、今後、本人の様子を見て他生徒がいる状態で就寝できるように取り組んでいく必要がある。

本人の実態から気持ちの浮き沈みがあり、日によってテンションが高くなり、口数が多くなったり、しつこい関わりで相手を怒らせたり、妄想話しをする様子が見られた。現在は薬の服用と、生活リズムの安定、他生徒の関わり方についての学習をすることで、少しずつ他生徒とのトラブルも少なくなり、テンションが高い様子も減って来ている。また、イライラしたときの発散方法として、音楽を聴くこと、ギターを弾くことでストレスを発散することができるようになってきている。

入舎当初より落ち着いて過ごす場面が多くなってきたが、日によってテンションが高い様子があったり、他生徒とトラブルになることもあるので、今後も学舎で情報を共有し、継続した指導が必要である。また、発作や双極性障害の診断も出ているので、家庭や病院とも情報が共有し連携しながら、今後も様子観察が必要である。

〇くん 通院時間：4月

日	曜日	通院時間	来院の様子	食事	備考(様子)
4/6	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	入学式 出席
4/8	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
4/10	土	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/11	土	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/12	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/13	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
4/14	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
4/15	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
4/16	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
4/17	金			全・全・全	家に帰省
4/18	土			全・全・全	家に帰省
4/19	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	朝、1時から寝てしまっている
4/20	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	4時から起きて、横這い歩くとおどろくなど寝も悪くない、話しが多い。
4/21	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	口の中が痒い、お茶飲が多くなり、寝が浅い。話し、かたけい、歯磨きも途中で止まったり、寝も悪くない。
4/22	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	
4/23	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて出てくる様子あり、夜泣きの頻度も増えていられる。
4/24	金	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/25	土	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/26	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/27	月	0:00-8:30	〇	全・全・全	奈良も聖徳堂に参会
4/28	火			全・全・全	家に帰省(2泊3日)

〇くん 通院時間：5月

日	曜日	通院時間	来院の様子	食事	備考(様子)
5/6	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	特別指導、修業対策、再も悪いです。夜泣き回数も増えて寝も悪いです。
5/7	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	特別指導、修業対策、再も悪いです。夜泣き回数も増えて寝も悪いです。
5/8	金			全・全・全	家に帰省
5/9	土			全・全・全	家に帰省
5/10	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	特別指導終了、通院日課にも、再も悪いです。夜泣き回数も増えて寝も悪いです。
5/11	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/12	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/13	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/14	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/15	金			全・全・全	家に帰省
5/16	土			全・全・全	家に帰省
5/17	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/18	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/19	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/20	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
5/21	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。今日はオムションが面、話しが多い。
5/22	金			全・全・全	家に帰省
5/23	土			全・全・全	家に帰省
5/24	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	22:00から(食事まで)の寝も悪く、夜泣き回数も増えて寝も悪いです。1時起床、夜泣きでつかぬ、イライラする様子
5/25	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜尿回数も増えて寝も悪いです。
5/26	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。イライラする様子
5/27	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	イライラする様子、夜尿回数も増える。
5/28	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿、話しが多い、寝も悪くない様子あり。
5/29	金	22:00-8:30	〇	全・全・全	家に帰省 夜尿回数も増える、夜泣きも増えた。
5/30	土	22:00-8:30	〇	全・全・全	家に帰省 夜尿回数も増える、夜泣きも増えた。
5/31	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増える、夜泣きも増えた。夜尿回数も増える、夜泣きも増えた。

〇くん 通院時間：6月

日	曜日	通院時間	来院の様子	食事	備考(様子)
6/1	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	横這い歩きの回数が増え、夜泣きも増える。
6/2	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/3	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/4	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/5	金			全・全・全	
6/6	土			全・全・全	
6/7	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/8	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/9	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。
6/10	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/11	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/12	金	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/13	土	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/14	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/15	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/16	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/17	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/18	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	寝も悪いです。八重に連絡し、2泊3日(2泊)の通院日課を実施、話しが多い。
6/19	金			全・全・全	家に帰省、行儀で帰省。
6/20	土			全・全・全	
6/21	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	朝からオムションが面、夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/22	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/23	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/24	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/25	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/26	金			全・全・全	
6/27	土			全・全・全	
6/28	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/29	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
6/30	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。

〇くん 通院時間：7月

日	曜日	通院時間	来院の様子	食事	備考(様子)
7/1	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/2	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/3	金			全・全・全	
7/4	土			全・全・全	
7/5	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/6	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/7	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/8	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/9	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/10	金			全・全・全	
7/11	土			全・全・全	
7/12	日	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/13	月			全・全・全	
7/14	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/15	水	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/16	木	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/17	金			全・全・全	
7/18	土			全・全・全	
7/19	日			全・全・全	
7/20	月	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/21	火	22:00-8:30	〇	全・全・全	夜尿回数も増えて寝も悪いです。夜泣きも増えた。
7/22	水			全・全・全	
7/23	木			全・全・全	
7/24	金			全・全・全	
7/25	土			全・全・全	
7/26	日			全・全・全	
7/27	月			全・全・全	
7/28	火			全・全・全	
7/29	水			全・全・全	
7/30	木			全・全・全	

1 自分データづくり (その1)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

◎自分データ① 基本的情報

27年9月9日現在

① 年齢	15歳 7か月
② 性別	男・女
③ 身長	わからない
④ 足のサイズ	
⑤ 顔の型	○型
⑥ 利き手	右
⑦ 利き足	あだかき
⑧ 利き目	両
⑨ 髪前はひきやすいですか?	いいえ
⑩ 平均睡眠時間	9時間
⑪ アレルギー	なし
⑫ 性別	おなじみ



2 自分データづくり (その2)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

◎自分データ② 自分の好きと嫌い

27年9月9日現在

① 好きな教科	音楽
② 嫌いな教科	体育
③ 好きな曜日	土日
④ 嫌いな曜日	金
⑤ 好きなこと	本を読む、テレビを見る
⑥ 嫌いなこと	ない
⑦ 好きな食べ物	たろこ、お好み
⑧ 嫌いな食べ物	みそ汁
⑨ 好きな色	お茶色
⑩ 好きな場所	外
⑪ 気の合う友だちは	
⑫ 好きなテレビやゲーム	スッキリとせいのり



3 自分データづくり (その3)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

◎自分データ③ 自分の好み・性格・考え方

27年9月9日現在

どちらかというところがある? どちらが好き? どちらを嫌う?

① 好きな食べ物	・最初に食べる	・最後までとっておく
② 好きな場所	・にぎやかな場所	・静かな場所
③ はじめの頃は	・ワクワク	・トホホ
④ どちらかを選んだら	・犬	・ネコ
⑤ 得意ことは	・好き	・嫌い
⑥ ちのことは	・予定通り進めたい	・柔軟な対応もOK
⑦ 話すときは	・どんどんテンポよく話す	・じっくり考えて話す
⑧ めんどろなことは	・すぐにかか	・おとにのぼしがち
⑨ イライラしたときや嫌なときの気分転換は	・好きなこと(テレビ、ゲーム)をする	
	・食べる	
	・遊ぶ	
	・お風呂	
	・散歩	
	・日記	
	・たれか()に相談する	
	・その他()	
⑩ リラックスできることや時は	()	



4 自分データづくり (その4)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

◎自分データ④ 理想の将来へ

27年9月9日現在

① 入りたい部活は?	音楽部
② がんばりたい勉強は?	音楽
③ どちらか選んでほしい?	・(正しい) ・どちらでも ・(正しい)
④ 今の自分で一番成長したいところは?	・神経 ・ルックス ・性格 (学力)
	・その他()
⑤ 今の自分の好きなところを?	やさしい
⑥ 今の自分の嫌いなところを?	ない
⑦ 5年後の自分は何をしたい? 得意なことを?	仕事をしたい、(アルバイト) (音楽)
⑧ 15年後の自分は何をしたい? 得意なことを?	よく働く、(アルバイト)
⑨ これからの自分を漢字一文字で表すとしたら?	
⑩ ここには何をしに来ていると思いますか?	音楽部



10 自分では気づきにくいけれど人は気にすること(その1)

臭だしなみを隠え、清潔でいることはなぜ大切なのでしょう。そんなこと別に気にならない、清潔になるわけじゃない、めんどろだと言う人もいるかもしれませんが、しかし、見た目はその人の印象を大きく決めます。

外見は「あの人は信頼できる」「あの人と話しくなりたい」将来的には「あの人に仕事をお願いしたい」とあなたの評価を左右する大きな要素です。でも、自分では気づいていないので気づきにくい面でもあります。以下の点について自己チェックしてみましょう。また変えたいほうがいいことはいくつか考え、それがあれば実行してみましょう。

(その1) では洗面面について考えてみましょう。

洗面面について 見た目は大切ですが「におい」にも気をつけることも大切です。

○…ほぼ完璧 △…あまりできていない
×…ほぼ、またはまったくできていない

① 歯みがき、洗顔は毎日している。	<input type="radio"/>	
② 風呂・トイレに入り、せっけん・シャンプーを使い、こまめに髪や顔も洗っている。	<input type="radio"/>	
③ ワイシャツ、くつ下、下着などを毎日洗濯している。	<input type="radio"/>	
④ タオルやハンカチなどを清潔にし、汗をかいた後まわっている。汗が干きぬが、とまどき気にしている。	<input type="checkbox"/>	△ 今の洗い方を少しする。
⑤ 臭いが高くなるまで我慢して匂いを気にしている。出ていけば、人目につかないとこころでかんでいる。	<input type="radio"/>	
⑥ つめが伸びたまわりの、定期的に髪や爪を切っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	× つめが伸びすぎたり。
⑦ 歯磨き粉や歯ブラシの入れかた、入れかたにしている(使い捨てでボロボロになっているものは使わないなど)。	<input type="radio"/>	

10 自分では気づきにくいけれど人は気にすること(その2)

臭だしなみを隠え、清潔でいることはなぜ大切なのでしょう。そんなこと別に気にならない、清潔になるわけじゃないし、めんどろだと言う人もいるかもしれませんが、しかし、見た目はその人の印象を大きく決めます。

外見は「あの人は信頼できる」「あの人と話しくなりたい」将来的には「あの人に仕事をお願いしたい」とあなたの評価を左右する大きな要素です。でも、自分では気づいていないので気づきにくい面でもあります。以下の点について自己チェックしてみましょう。また変えたいほうがいいことはいくつか考え、それがあれば実行してみましょう。

(その2) ではマナーや「くせ」について考えてみましょう。

マナーについて 特に食事の時は注意しましょう。

○…ほぼ完璧 △…あまりできていない
×…ほぼ、またはまったくできていない

① 手づから食べ物と口を触れ、拭き拭きしないまま口に食べている。	<input type="radio"/>	
② 口の中にもものが入ったまま話さない。食事をする時話してふざけたりしている。	<input type="radio"/>	
③ 食後、口をこまめに拭き、口の周りや口のすぐそばの清潔を保っている。	<input type="radio"/>	
④ 人にむけてくしゃみやせき、げっぷなどをしない。またする時は手でかかっている。	<input type="radio"/>	
⑤ シャツがはき出ているが、裾がきつくと汚れているか、ファスナーがはき出ているかから周囲の服装を見ることができてチェックしている。	<input type="radio"/>	

⑥ 「くせ」について 無意識なことです。人によってはとてつもなく気になるものがあります。

○…ほぼ完璧 △…あまりできていない
×…ほぼ、またはまったくできていない

① することがないときと気づきずしてしまふ。	<input type="radio"/>	
② たばこや煙草の匂いを口の中に入れておく。	<input checked="" type="checkbox"/>	△ たばこや煙草。
③ 鼻の匂いを口の中に入れてしまふ。鼻をすする。	<input type="radio"/>	
④ つめが伸びた。	<input checked="" type="checkbox"/>	× つめが伸びすぎたり。

図2

11 自分の性格やタイプを考えてみよう(その1)

人の性格やタイプを知ることは、さまざまなものがあふれる。自分の性格やタイプを知ること、さまざまな性格やタイプを知ることは、どのようなやり方が、自分に合っているかを考えるヒントになります。例えば、「おとなしくて、しゃべるのは苦手」というタイプであれば、「人の話を上手に聞くことは、とても重要」とか「笑顔の力は十分発揮しよう」と考えることが大切です。自分の2つの性格やタイプを比べ、自分がどちらに近いかを考えてみましょう。

※おなじいことばがあったら黒く塗り、残っている色を読みよう。

やり方の例: ① ② 「おとなしくて、しゃべるのは苦手」

① 穏やか	② 穏やか	③ ひかえめ
④ おとなしく	⑤ おとなしく	⑥ おとなしく
⑦ 穏やか	⑧ 穏やか	⑨ おとなしく
⑩ おとなしく	⑪ おとなしく	⑫ おとなしく
⑬ おとなしく	⑭ おとなしく	⑮ おとなしく
⑯ おとなしく	⑰ おとなしく	⑱ おとなしく
⑲ おとなしく	⑳ おとなしく	㉑ おとなしく
㉒ おとなしく	㉓ おとなしく	㉔ おとなしく
㉕ おとなしく	㉖ おとなしく	㉗ おとなしく
㉘ おとなしく	㉙ おとなしく	㉚ おとなしく
㉛ おとなしく	㉜ おとなしく	㉝ おとなしく
㉞ おとなしく	㉟ おとなしく	㊱ おとなしく
㊲ おとなしく	㊳ おとなしく	㊴ おとなしく
㊵ おとなしく	㊶ おとなしく	㊷ おとなしく
㊸ おとなしく	㊹ おとなしく	㊺ おとなしく
㊻ おとなしく	㊼ おとなしく	㊽ おとなしく
㊾ おとなしく	㊿ おとなしく	㋀ おとなしく

11 自分の性格やタイプを考えてみよう(その2)

人の性格やタイプを知ることは、さまざまなものがあふれる。自分の性格やタイプを知ること、さまざまな性格やタイプを知ることは、どのようなやり方が、自分に合っているかを考えるヒントになります。例えば、「おとなしくて、しゃべるのは苦手」というタイプであれば、「人の話を上手に聞くことは、とても重要」とか「笑顔の力は十分発揮しよう」と考えることが大切です。自分の2つの性格やタイプを比べ、自分がどちらに近いかを考えてみましょう。

※おなじいことばがあったら黒く塗り、残っている色を読みよう。

やり方の例: ① ② 「おとなしくて、しゃべるのは苦手」

① 穏やか	② 穏やか	③ ひかえめ
④ おとなしく	⑤ おとなしく	⑥ おとなしく
⑦ 穏やか	⑧ 穏やか	⑨ おとなしく
⑩ おとなしく	⑪ おとなしく	⑫ おとなしく
⑬ おとなしく	⑭ おとなしく	⑮ おとなしく
⑯ おとなしく	⑰ おとなしく	⑱ おとなしく
⑲ おとなしく	⑳ おとなしく	㉑ おとなしく
㉒ おとなしく	㉓ おとなしく	㉔ おとなしく
㉕ おとなしく	㉖ おとなしく	㉗ おとなしく
㉘ おとなしく	㉙ おとなしく	㉚ おとなしく
㉛ おとなしく	㉜ おとなしく	㉝ おとなしく
㉞ おとなしく	㉟ おとなしく	㊱ おとなしく
㊲ おとなしく	㊳ おとなしく	㊴ おとなしく
㊵ おとなしく	㊶ おとなしく	㊷ おとなしく
㊸ おとなしく	㊹ おとなしく	㊺ おとなしく
㊻ おとなしく	㊼ おとなしく	㊽ おとなしく
㊾ おとなしく	㊿ おとなしく	㋀ おとなしく

「あたまと心で考えようSSTワークシート思春期編」
NPOフットーロLD発達相談センターかながわ2012 より

事例報告

『金銭の理解を深める』

報告者 Cグループ (職員名 島野五樹、泉波卓也、齊藤直美)

1 事例対象生徒

- ・学科 農業科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…知的障害

2 対象生徒の実態

(1) 基本的な生活習慣

- ・基本的な身辺処理については丁寧に行うことが難しいがおおむね自立している。
- ・整理整頓、物の管理をすることが難しい。

(2) 社会性

- ・集団活動の中で誰に対しても優しく接することができる。
- ・金銭の理解が難しい。
- ・数字としては理解しているが硬貨になると理解が難しい。
- ・日課についてはおおまかな流れは理解しているが、自分で考えて行動することは難しい。
- ・人と会話することを好むが、返答が不適切な場合があり、相手の状況や気持ちを考えて話すことが難しい。
- ・他生徒の影響を受けて不適切な行動をとることがある。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

- ・家では保護者に頼ることが多く、自分で行動することが少ない。
- ・買物で硬貨を使用する機会がほとんどなかった。
- ・家庭では支払い全般を保護者がしており、買い出しも保護者が行っている。
- ・将来に向けて自立して生活する力を身につけて欲しい。
- ・周りの人と適切な距離感で関わられるようになって欲しい。

4 課題の設定及び指導仮説

(1) 実態の整理

- ・身辺処理全般について行うことができるが、丁寧に行うことが定着していない。
- ・金銭の理解が難しい。
- ・買物の経験が少なく硬貨の理解が難しい。
- ・人との関わりを好んでいるが適切に関わるのが難しい。

(2) 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「金銭の理解を深める。」

(3) 指導仮説

本生徒は外出の経験不足、硬貨を使用する経験不足から金銭の理解が難しく、事前に舎室担当と予算、持参する金種について話をするが硬貨の計算が難しく、悩む様子が見られる。しかし本人は問題視しておらず、自主的に改善するには至っていない。

課題を改善するために硬貨を使用する経験を多くしながら、金銭理解に対する指導を行うことで理解の向上を図ることができると考える。

5 指導内容及び方法

(1) 数字を理解して、その金種をその数だけ出すことができる。(198円は百円玉1枚、十円玉9枚、一円玉8枚など)

- ・硬貨についてワークシートを用いて学び、小銭の理解ができるよう取り組む。
- ・結果を通して自分の得意不得意を理解する。

(2) 計算力を高める。

- ・百マス計算を行い、計算力の育成に取り組む。
- ・筆算を行い、繰り上がりなど計算の仕組みについて理解する。

(3) 硬貨を使って買物をするができる。

- ・金額を設定し、決められた金額内で硬貨を使用して買物を行う。
- ・実際に買物を行い、金種の理解の到達度をみる。
- ・到達度に応じて、指導を行っていく。

6 指導経過

(1) ワークシートを用いて、決められた金額に対して実際の硬貨を出す練習をおこなった。最初は60円の金額に対して10円玉を6枚だしたり、87円の金額に対して10円玉を8枚と1円玉を7枚出すなど、50円玉、5円玉を使用しない様子が見られた。何度も回数をこなし、経験を増やすことで、百の位までの金額ならば、500円玉、50円玉、5円玉を使用して出すことができるようになった。

しかし、1089円や1220円などの百の位をこえる金額になると、小銭で出すことが難しい様子が見られた。本人も苦手な部分を理解してきている。

今後は小銭の限定や、お釣りを踏まえて、どの硬貨を何枚出すか考えることができるよう、金額に対して支払う小銭の理解が深まるよう指導していく。

(2) 百マス計算のワークシートを本人の余暇時間に行ってきた。百マス計算は小、中学校で経験してきているため間違えることなく解答することができていた。筆算は小、中学校での経験から解答することができている。しかし桁数が多くなると間違える様子も見られたため、今後はワークシートの硬貨の計算などで活用して間違いがなくなるよう指導していく。

(3) ワークシートの問題を間違えることなく、解答することができるようになってきたため、10月から硬貨を用いた買物を実践していく。初めは金種を設定し、事前に決められた硬貨の枚数を使用して会計を行う指導していく。経験を重ねていき、お釣りを踏まえた買物の実践をしていく。買物後、その都度、職員がレシートを確認し、本人と一緒に買い物の振り返りを行い、次回の買物に生かせるよう指導していく。

7 結果及び考察

(1) 数字を理解して、その金種をその数だけ出すことができる。

ワークシートや口頭で問題を出し、何度も繰り返し行うことで、百を超える金額でも硬貨を適切に使用することができるようになった。硬貨を限定した問題やお釣りを踏まえた硬貨の出し方についてもワークシートや買物実践を通して適切な硬貨の使い方について理解を深めることができた。

(2) 計算力を高める。

ワークシートの解答を確認するよう指導することで、間違えることなく解答することができるようになった。これにより小銭や紙幣を用いた支払いの際にも、確認しながら適切な支払いをすることにつなげることができた。

(3) 硬貨を使って買物をするすることができる。

複数回、小銭を限定した買物を実践してきた。買物後、職員と小銭を適切に使用することができたか、確認を行うことで徐々に金銭の理解を深めることができた。また、百の位を超える数字も小銭だけで支払うことができるようになり、お釣りを考慮して、紙幣や小銭を併せて使用した適切な支払いをすることができるようになった。

今回の事例研究は、本生徒が金銭の理解に課題を抱えていることから「買い物の経験が少なく硬貨の理解を深めることが難しい」と考え指導を行ってきた。今回の事例研究を通して、計算能力や金銭の理解が向上することができた。指導に関してはできることが増え、他者からの評価を受けることによって、意欲的に取り組むことができるようになった。間違えた部分を反復して行うことは本人も自分の苦手なところが理解しやすく有効だったと考える。又、家庭にもご協力いただき、帰省中の買物でも硬貨だけを持たせての外出を行い、硬貨の理解が深められるようご協力いただいた。今後も将来の社会生活に生かせるよう金銭の理解を深める指導が重要であると考えます。

事例報告

『生活スキルの獲得を目指した指導』

報告者 Dグループ（職員名 松尾晴奈、藤田美華）

1 事例対象生徒

- ・学科 農業科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…知的障害

2 対象生徒の実態

(1) 基本的生活習慣

- ・身辺処理全般については自分で行うことができる。
- ・起床時間を定着することが難しい。

(2) 社会性

- ・初対面の人には人見知りをすることがある。
- ・他者への甘えや依存心が強い様子がある。
- ・異性に興味があり、距離が近いことがある。
- ・面倒見が良く、世話好きな面がある。
- ・責任感があり、活動には積極的に参加することができる。
- ・周りの環境に気持ちが左右されることがある。
- ・気持ちが高揚すると不適切な言葉遣いが見られる。
- ・日用品の購入を自分で行ったことがない。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

- ・家庭では手伝いなども嫌がらずに行うことができる。
- ・気を配って自ら動くことができる。
- ・日課に沿った生活の中で有効な時間の使い方や、周りのことを自分で考えて行動することを学んでほしい。

4 課題の設定及び指導仮説

(1) 実態の整理

- ・起床時間を定着することが難しい。
- ・初対面の人には人見知りをすることがある。
- ・他者への甘えや依存心が強い様子がある。
- ・異性に興味があり、距離が近いことがある。
- ・周りの環境に気持ちが左右されることがある。
- ・気持ちが高揚すると不適切な言葉遣いが見られる。
- ・日用品の購入を自分で行ったことがない。

(2) 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「生活スキルの獲得を目指した指導」

(3) 指導仮説

本生徒は卒業後に保護者の元を離れて生活を送る予定である。今後自立した生活を送っていくことを考えると、身辺処理全般については問題ないが、現在課題となっている他者への甘えや依存心からくる気持ちの不安定さ、社会経験不足が不安要素として残る。そのため、卒業後を見通して社会性を育み、最終的に自分らしく生きていくにはどうしたら良いか考える時間を設けることによって、生活スキルを獲得し、より豊かな生活を送っていくことができるのではないかと考える。

5 指導内容及び方法

(1) 社会人としてのマナーを身に付けることができる。

定期的に内容に沿ったワークシートやロールプレイを職員と一緒にいき、社会人に向けたマナー講座を実施する。内容はコミュニケーションの取り方、学生と社会人の違いを考えた立場、気持ちの安定やストレス発散方法などについて学んでいく。

(2) 社会経験を増やし、自信をつける。

卒業後のことを想定し、経験する機会を設定していく。公共施設の利用や日用品の購入、お金の使い方、携帯電話の使い方、身だしなみ（服装、化粧）について資料や実践をもとに、(1)と同様に学ぶ機会を設けていく。

(3) 卒業後の生活をイメージし、自分らしい生き方を計画する。

(1)、(2)と同様に職員と一緒に卒業後に生活を送る上でかかる費用のシミュレーションやどんな人生を送りたいかを考える機会を設けていく。

6 指導経過

(1) 社会人としてのマナーを身に付けることができる。

第1回目は「私ってどんな人？自分から見た自分と周りから見た自分を知ろう！（自己理解）」というテーマで定期的に時間を設け、ワークシートを行った。自分自身のデータを分析し、整理することで、自分の特性や適性について見つめ直すことができた。次に、周りの人から自分がどのように見られているか、友達や職員に自分の印象を聞く取り組みを行った。周りの人に言われて初めて気付かされた部分もあり、客観的に自分の特性を知ることができた。(資料1、2)

第2回目は「これであなたも女子力アップ！その場に応じた言葉遣いを学ぼう！」というテーマで行った。はじめにプリント(資料3)を使用し、社会人としての言葉の使い方について理解を深めた。次にワークシート(資料4)を使用し、敬語使って話す相手を考えたり、練習問題として、色々な場面を想定して、敬語を使う練習を行った。本生徒は語彙が少なく、表現の仕方に幼稚な部分が見られる。今後は社会人として必要な基本的な語彙を教えることで、より周りの人と良い関わりが持つことができ、生活スキルが向上するのではないかと考えた。最後に穴埋め問題(資料5)を使って、男性が女性と関わるときに言葉遣いが悪いと感じるフレーズについて学習を行った。本生徒は印象の悪い言葉遣いを日常生活で使用している可能性がある自分自身を分析することができた。先にも述べたように、本生徒は語彙が少ないこと

もあり、穴埋め問題は難しいようだったが、今後、印象を考えた発言をすることに意欲的であった。

第3回目は「学生と社会人の違いについて」というテーマで行った。ワークシートを使って、社会人と学生の7つの違いを学んだ。本生徒は違いについても自分なりに解釈し、どのような社会人になりたいか、また、どのような準備をしておけば安心かというところまで考えることができた。

第4回目は「イライラや不安。こんな時どうやって解決する？」というテーマで行った。

本生徒は今までは誰にも頼らず、ただ我慢をしてきたと言っていたが、今回の学習で誰かに相談した方が本当に困ったときに助けてもらえることが理解できたという発言があった。また、資料にもあるように、自分なりのストレス解消の方法も見つけることができ、怒りと上手な付き合い方を考え出すことができた。

(2) 社会経験を増やし、自信をつける。

本生徒は郵便局に預金口座は持っていたが、今まで貯金しかしたことがなかったため、卒業後、お金の出し入れをすることを見通して、キャッシュカードを作った。お金を引き出す練習を行い、問題なくお金の出し入れをできるようになった。次に日用品の買い物の練習を行った。本生徒は今まで寄宿舎で使う日用品は家庭より持参してきていたが、寄宿舎で日用品を購入するようになり、どれくらいで次の物を購入しなくてはいけないのか、見通しを持つことができるようになった。本生徒からも、今回の経験からお金の大切さを学ぶことができたと言う発言があり、今後も携帯電話の使い方、身だしなみについて資料や実践をもとに学ぶ機会を設けていく。

第5回目は「携帯電話の使い方について」というテーマで行った。ワークシートと資料(資料6)を基に携帯電話の便利な点や危険性について学習を行った。本生徒は、現在携帯電話は使用していないが、卒業後に持つことが予想される。携帯電話を持つことは楽しみにしているが、事件などに巻き込まれる危険性もあると知り、正しく使いたいという発言も見られた。

第6回目は「働く女性の身だしなみについて(清潔、服装、化粧)」というテーマで行った。プリント(資料7、8)に項目に沿って身だしなみのポイントを記載し、その下の図から正しいものとそうではないものにそれぞれ○、×を付けるという方法で学んだ。現在本生徒の身辺処理はおおむね自立し、身だしなみも清潔に保つことができているため、間違えることなく、答えることができた。また、社会人になったら休日にはいろいろなおしゃれもしてみたいという発言もあった。

(3) 卒業後の生活をイメージし、自分らしい生き方を計画する。

(3)も(1)と同様にワークシートやロールプレイを用いたマナー講座で学習を行った。

第6回目は「GHでの生活っていったいどれくらいのお金がかかるの?(貯金、家計簿のつけ方)」というテーマで行った。学校の進路指導部にもご協力いただき、本生徒が卒業後にどのくらいの給料がもらえるのか、GHの経費はどれくらいかかるかなどをまとめたプリント(資料9)を基に、本生徒が自分で計算し、記入する方法で学習を行った。本生徒は日給は知っていたが、月に換算した合計金額とGHで掛かる詳しい経費が分からなかったので知れてイメージが付き、1ヶ月にこれほどの給料がもらえるのでしっかりと責任を持って仕事をしなくてはいけないという、意欲的な発言があった。

第7回目は「卒業後の余暇活動。何をして過ごせばいいかな?(旅行計画など)」、「3年後、10年後の自分は何をしていると思う?将来の自分の理想像。」の2つのテーマで行った。(資料10)まず1つ目のテーマである、余暇活動については、自分のしたいことについてはすぐ

に思いついたが、余暇活動を行うために必要な準備についてはなかなか答えが出てこず、職員がヒントを出すことによって答えを導き出すことができた。2つ目の将来の自分の理想像についても、理想は高く持ち前向きな考えで、その理想に近づくためにできることも生活をきちんと送る、自分の課題を直していくと的確に答えることができた。

7 結果及び考察

(1) 社会人としてのマナーを身に付けることができる。

- ・始めに自己理解をすることによって客観的に長所、短所を改めて知ることができた。また、言葉遣いについても不適切な言葉遣いのあることがあるため、直したいという発言が見られたり、社会人と学生の違いを学ぶことによって、社会人は自分で責任を取らなくてはならないということを学ぶことができた。イライラや不安についても具体的な解消方法を本生徒の力で見つけ出すことができた。基本的な社会人としてのマナーを身に付けることができた。

(2) 社会経験を増やし、自信をつける。

- ・社会経験の部分では特に、自分で日用品を買いに行くことが良い経験になった。品物を手に取り、品質や値段を見て買うことや、日用品の減りや消耗具合を自分で確認し、見通しを持って買い物ができるようになり、本生徒はお金の大切さについて学ぶことができた。
- ・携帯電話の使い方や身だしなみについても、何も知らないで卒業するのではなく、ある程度の知識があることによって、卒業後安心して生活を送ることができるという発言が見られた。

(3) 卒業後の生活をイメージし、自分らしい生き方を計画する。

- ・卒業後、本生徒は親元を離れてGHで生活を送ることになる。本生徒は自分の給料の収入と支出の内訳を把握することによって、働くことの大変さや、生活を送るためにかかる費用を知ることができた。また、卒業後にしてみたいことや行きたい所の望みはあるが、それにも事前に準備や費用が必要であると理解することができた。本生徒は社会に出ることは不安に思っているが、理想を高く持ち、前向きな考えであった。

今回の事例研究は、本生徒が卒業後自立した生活を送っていくことを考えたときに、現在の課題である他者への甘えや依存心からくる気持ちの不安定さ、社会経験不足があるため、「生活スキルの獲得を目指した指導」に重点を置いて指導を行ってきた。社会人としてのマナーを身に付けることができるという目標では、マナー講座を通して、社会人と学生の違いを理解し、卒業までに本生徒が身につけなくてはいけない課題を把握し、改善しようとする姿勢が見られた。社会経験を増やし、自信をつけるという目標では、ATMの使用や、実際に買い物へ行くことによってお金の大切さを知ることができた。ATMの使用と買い物については、今後も自信を持って行くことができると本生徒より発言があった。卒業後の生活をイメージし、自分らしい生き方を計画するという目標では、本生徒が稼いだ給料の支出の内訳を学び、働くことの大変さ、余暇を充実するのにも、事前の準備と費用がかかることを学ぶことができた。事例研究を始めた当初よりも、他者への甘えや依存も減り、自分で考えて行動することが増えてきている。今回の学習で学んだことを生かして、卒業後も自立して、自分らしい生き方ができるような指導を行っていく。

卒業後までに知りたいこと！ 素敵な社会人を目指しましょう！

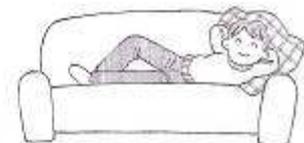
日付	テーマ
	私ってどんな人？自分から見た自分と周りから見た自分を知ろう！（自己理解）
	これであなたも女子力アップ！その場に応じた言葉遣いを学ぼう！
	学生と社会人の違いについて
	イライラや不安。こんな時どうやって解決する？
	携帯電話の使い方について
	働く女性の身だしなみについて（清潔、服装、化粧）
	GHでの生活っていったいどれくらいのお金がかかるの？(貯金、家計簿のつけ方)
	卒業後の余暇活動。何をして過ごせばいいかな？(旅行計画など)
	3年後、10年後の自分は何をしていると思う？将来の自分の理想像。
	その他（本人が知りたいことがあれば行う。）

3 自分データづくり (その3)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

●自分データ③ 自分の好み・性格・考え方 27年 6月 29日現在
 どちらかというど どちらが好き? どれが好き? どれを選ぶ?

①	好きな食べ物は	・最初に食べる	・最後までとっておく
②	好きな場所は	・にぎやかな場所	・静かな場所 <small>どうでもいいと集中できない</small>
③	はじめての所は	・ワクワク	・ドキドキ <small>ぐずぐずかこわいかな?</small>
④	どちらかを飼うとしたら	・犬	・ネコ
⑤	勝負ごとは	・好き	・嫌い <small>どから負けにこたえたりしないかな?</small>
⑥	ものごとは	・予定通り進むのがいい	・急な変更もOK <small>そらと73</small>
⑦	話をするときは	・どんどんテンポよく話す	・じっくり考えて話す
⑧	めんどろなことは	・すぐにやる	・あとにのばしがち <small>さいふたかな?</small>
⑨	イライラしたときや嫌なときの気分転換は		
	・好きなこと (料理)	をする	・食べる
	・お風呂	・走る	・叫ぶ
⑩	リラックスできることや時は (歌を聞く)		



「あたまと心で考えよう SSTワークシート思春期編」
 NPOフットーロLD発達相談センターかながわ2012 より

4 自分データづくり (その4)

今の自分を見つめて、できるだけたくさん書いてみましょう。

●自分データ④ 現在から未来へ

20年 6月 29日現在

①	入りたい部活は？	陸上
②	がんばりたい勉強は？	体育 エサカも得意にしたい
③	これから彼女・彼氏はほしい？	◎ほしい ・どちらでも ・ほしくない
④	今の自分で一番変えたいところは？	・体格 ・ルックス ◎性格 ◎学力 ◎その他 (言葉でかい)
⑤	今の自分の好きなところは？	何事もやること
⑥	今の自分の嫌いなところは？	すぐ何やら
⑦	5年後の自分は何をしている？ 何をしていたい？	はたがっている <input type="text"/>
⑧	15年後の自分は何をしている？ 何をしていたい？	けっこよしてると思う
⑨	これからの自分を漢字一字で表すとしたら？	夢 ← 自分の夢に向かって頑張りたい
⑩	ここには何をしに来ていると思いますか？	働くための言葉

性格を知っていても我々も
・すぐ辞めたい



「あたまと心で考えよう SSTワークシート思春期編」

NPOフットーロLD発達相談センターかながわ2012 より

ビジネス マナー集 **10** 言葉づかいの基本

会社には、たくさんの働く仲間がいます。書く理由のことや、上司、先輩、同僚、後輩という言葉で呼ぶことがあります。また、社長、赤松、部長、主任、グループリーダーという言葉をつかうこともあります。

どちらにしても、会社には、長年やまはらいません。会社で働く仲間と話すときは、社名として、必ずかしくない、ていねいな言葉をつかいます。



正しい言葉づかい

- 返事は「はい」
 - グループリーダーから、「ちょっと来てくれ」と呼ばれたら、「はい」と返事をする。
 - 部長から、「Oさん」と名前を呼ばれたら、「はい」と返事をする。
- 呼びかけは「Oさん」、「失礼します」
 - 同僚や「上司」に用事があるときでわからないことを聞くとき、それまで話していた「失礼します」と声をかけるか「Oさん」と名前を呼ぶ。
- ていねいな言葉づかい:「～です」、「～ます」、「～ました」、「～ません」、「～ください」という終わり方で話す
 - 上司から、「今は何をしているの?」と聞かれたときは、「お急ぎの作業中です」と答える。
 - 先輩同僚に聞かれたら、「あの仕事は有?」と聞かれたときは、「Oの仕事です」と答える。
 - グループリーダーに作業の指示を領受するときは、「～できました」「終わりました」と言う。
 - どの仕事をするべきかわからなくなったときは、「～がわかりません」と言う。
 - 又在工作中教えてもらうときは、「～を教えてください」と言う。

42

働かばじめてから気をつけろこと

X これはマナー違反です

上司からの名前を呼ばれた時に、何も言わずに歩く。

次の仕事を教えてもらうとき、先々の同僚に「おえ、ちょっと」と声をかけてしまう。

グループリーダーが教えてくれた仕事が新しいときに、「ヤダ」と言ってしまう。



こんなとき、相手はどう感じてしまうでしょう



- 呼ばれて、返事をしないのは、この会社で働かたくないということなのかな?
- 社名入なのに、まだ子どものような口のまき方ができないのか。
- こんな話し方しかできない人には、もう仕事は教えたくない。一緒に働かたくない。

チェックポイント

- 返事はしつかりと「はい」と言う。
- 人を呼ぶときは「Oさん」、「失礼します」と言う。
- 「～です」「～ます」といった、ていねいな言葉づかいを心がける。



「見てわかるビジネスマナー集」
ジアース教育新社 より

ビジネス マナー集 **11** つかってはいけない言葉

会社では、社会人として恥ずかしくないていねいな言葉をつかいます。いつもはどんなにていねいな言葉づかいを心がけていても、たった1度だけ会社の仲間がいやがる言葉をつかったために、不信感を持たれてしまうことがあります。ここでは、会社でつかってはいけない言葉を紹介しします。



X 使ってはいけない言葉

- 大声を張り上げどなってしまう
 - 得意仕事を教えてもらってうまくできないので、「できない!」と大声で叫んでしまう。
 - 会議中におしゃべりしている同僚に対して、「うるさい!」と大声を張り上げてどなる。
- 乱暴な言葉を浴びせる
 - 上司や同僚から、職場での態度を注意されたときに、「うるさい奴!」とか「このケジメジメ」と言う。



こんなとき、相手はどう感じてしまうでしょう

- 怒り大声で叫ぶなんて、びっくりしたな。脅にでもすぐに帰ってしまう。赤ん坊のように、感情を抑えられない人なんだな。
- 乱暴な言葉を浴びせられて、いやな気分だ。もうあの人は話したくないな。

「見てわかるビジネスマナー集」
ジアース教育新社 より

1、敬語を使って話した方がいい人はどんな人だろう？卒業後を想定して考えてみよう！

先輩、上司、お店の人
先生

2、敬語ではない話し方で話してもいい人はどんな人だろう？

同僚の人

親、妹、友達

3、練習してみよう！

卒業後、働き始めて3ヶ月、仕事にも慣れてきました。学校に近況を報告しにやってきました。敬語を使って報告する内容を書いてみよう！

- ・卒業して3か月がたっただけですが職場にもなれました。
「たっただけか」
- ・元気に仕事をやって頑張っています。
「頑張」

職場でわからないことがありました。上司に聞きたいですが、PCに向かってお仕事中です。どのように声をかけたら良いのでしょうか？書いてみましょう！

お仕事中 失礼します。わからないことがあるので教しえてもらえますか。

職場の方が旅行へ行き、お土産をいただきました。直接会うことができず、机の上に置いてありました。後日会ったときにどんなお礼をしたら良いのでしょうか？

- ・お礼を言うのがおそくなってしまいました。
- お土産ありがとうございました。とてもおいしかったです。
「おい」

今日は函館へ遊びに行き、GHへ帰る時間が遅くなります。GHの職員さんに遅れる連絡をしてみましょう。

もし です。今 にいますか？バスがおくられてしまいGHに帰るのがおそくなってしまいます。すみません。

すみません → すみません

男性が女性に対して言葉遣いが悪いなと思ってしまうフレーズ10選

女性の品をどこで感じるかという質問に、言葉遣いをあげる男性は多いそうです。彼女が使った悪い言葉に幻滅した、なんて話も聞かれます。

でも、きれいな言葉遣いなんて一朝一夕には難しいし、そもそもそんな言葉でしゃべっている自分なんて、想像出来ない……という方もいるのではないのでしょうか。それならまずは、きれいな言葉を遣うことより、印象が悪い言葉遣いを減らしてみるところからはじめてみませんか。

こんな言葉遣いしてませんか？

1:「あんた」「てめー」「おめー」

親しみをこめて呼んだつもりなのに、言葉遣い悪いな、と思われてしまう呼び名です。「てめー」と呼ぶことはあまり無くても、油断していると「あんたはねー」とぼろっと出てしまったりするので、要注意。男性は呼ばれ方に敏感です。

呼ぶ時には名前です。その方が親近感も増します。

2:「やばい」「やべー」「やっべ」

これも、普段使っていると口からつい出てしまう言葉です。言葉遣いが悪いと思われるだけでなく、語彙が少ないと思われてしまう可能性もあるので、言わないように気をつけましょう。

言い換える時には、やばいくらいどうなのか、を考えてみましょう。やばいくらいに面白いなら、「面白い」。やばいくらいに美味しいなら、「美味しい」と言い表しましょう。

3:「マジ」

「マジびっくりしたー」「マジ？」「マジボケ」なんて言ってしまうたりしてませんか？

これは、「マジ」の部分を取ってしまうか、「ほんとう」に言い換えてみましょう。

4:「じゃね？」

ちょっと照れが入っているときに、使ってしまうがちな言葉です。軽い気持ちで聞いているんだよ、というニュアンスをつけ加えたつもりが、相手の男性に眉をひそめられてしまう結果に、なんてことも。

普通に「〜じゃない」「〜じゃないかな」と言った方が好印象です。

5:「うざい」「うぜー」

彼女がこう言うのを聞いた男性のがっかり感は相当なものがあるようです。言葉遣いの悪さと共に、性格の悪さまでが疑われてしまったりしかねませんので、特に注意が必要です。



携帯電話の使い方について



Q1、携帯電話ではどのようなことができますか？

メール ブログ 電話
LINE ツイッター
フェイスブック けいじほけん

Q2、卒業後携帯電話を持ったらどのようなことをしてみたいですか？

メール
電話

Q3、携帯電話にはどのような危険がありますか？

知らない人からメールがきたり
いたずら電話がかかってくる。
他にもフェイスブックなどに悪セなどを書くと
一生残る危険性がある。

Q4、自分自身が危険に巻き込まれないようにするためには、どのように携帯電話を使えばいいですか？また、万が一巻き込まれてしまったときには、どうしたらいいですか？

知らない人から電話やメールがきてもでいい。返信をしない
まきこまれたら 謝りの大人や職場の上司の人に相談する

Q5、今後、携帯電話を持ったときに、何か不安などがあれば書いてみましょう！

いたずらメール、電話、事件
目にかかるお金

資料7

働く女性の身だしなみについて（清潔、服装、化粧）

髪	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔にし、きちんと手入れをする ・仕事しやすい髪型にし、お辞儀により都合、髪をかきあげることのないようにする ・前髪が目にかからないようにする ・極端な脱色、きつい色のヘアカラーは不可 ・ヘアアクセサリーが目立ちすぎないようにする <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 400px; margin-top: 10px;"></div>
化粧	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で健康的な感じを心掛ける ・化粧くずれはしていないかを意識する ・口紅の色は勤務に合わせてビジネスを意識する（白っぽいもの、ブラウン系は避ける） ・香水はつけすぎない（柔軟剤の入れすぎにも注意する） <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 250px; margin-top: 10px;"></div>
服	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔感を意識し、シンプルできちんと見えるものにする（色は3色くらいにおさえるとよい） ・スカートの裾はほつれなどないようにする ・スカートの丈は長すぎず短すぎず（ひざ上5cm程度からミディ丈くらいが望ましい） ・透けすぎたり、露出度のたかいものは不適切（キャミソール等） ・汚れ、シミ・シワのないように気をつける ・名札はきちんと見えるところにつける <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 220px; margin-top: 10px;"></div>
手	<ul style="list-style-type: none"> ・爪は手入れがされ長すぎない、マニキュアは派手すぎないように節度をもつ ・爪はきれいに整っている ・指がささくれだっていない <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 220px; margin-top: 10px;"></div>

資料8

靴	<ul style="list-style-type: none"> ・色や型などビジネス上適切なおものであること <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 180px; margin-top: 10px;"></div>
アクセサリー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事上邪魔になるアクセサリー、目立ちすぎるものは避ける
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・髪、体は毎日石鹸で洗う ・顔はテカテカ光っていない ・メガネは日に何度も拭く ・鼻毛・耳毛は見えていない ・産毛のそり残しはない ・眉にフケなんて落ちていない ・ニククの臭いはしない ・歯の間に食べ物がはさまっていない

GHでの生活っていったいどれくらいのお金がかかるの

だいたい…

収入

1日：5600円

一ヶ月で働く日数 23から25日

総支給額は・・・12～14

ここから所得税（働いたお金の数%を国に納める税金のこと）を10000円引いて、

11～13 円

支出

・GH（3食、光熱費込み）：60000円

※国から補助金が出るので実質50000円

・小遣い：20000円（5000円×4）

※週に5000円もらえます。

・ケータイ：10000円

手元に残るお金は 40000 円

※お金は世話人さんがしっかりと管理してくれます。

小遣いで買うもの

日曜日の食事（3食分）、飲み物、お菓子、日用品（歯ブラシ、歯磨き粉、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔、洗濯洗剤、柔軟剤、その他）など

その他

持参金：500000～550000円（持参金で家財道具、身の回りのものを購入）



卒業後の余暇活動。何をして過ごせばいいかな？

Q1、社会人になりました。日曜日はお休みです。どんなことをして過ごしたいですか？

- ・遊ぶ
- ・日帰り (函館)
- ・ご飯作り

Q2、明日から3連休です。どのようなことをして過ごしたいですか？

- ・おんせん (札幌)
- ・あそぶ

Q3、Q2の3連休を過ごすためにはどのような準備が必要ですか？

- ・貯金
- ・事前に友達に連絡する
- ・きつぽを置く
- ・ポランを置く
- ・お礼の予物

Q4、ストレスが溜まってイライラします。どのようなことをして発散しますか？

- ・歌を聞く
- ・遊ぶ
- ・あそぶ
- ・電話をかける ()

3年後、10年後の自分は何をしていると思う？将来の自分の理想像。

3年後、10年後の自分は何をしていると思う？またどうあってほしいか理想像を書いてみよう！

3年後

- ・生活をきちんとする
- ・EXILEのライブに行く
- ・ に会いに行く

10年後

- ・一人暮らし
- ・車に乗る旅行 TDS
- ・1ヶ月こみする
- ・正社員になる

上記の理想に近づくためにどのようなことをしたらいいでしょう？書いてみよう！

- ・生活をきちんとする
- ・自分の言葉と理想を通していく

事例報告

『卒業後に向けた社会性の向上』

報告者 Eグループ（職員名 森山紫帆、清野恵美）

1 事例対象生徒

- ・学科 産業科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…言語障害、情緒障害

2 対象生徒の実態

（1） 基本的な生活習慣

- ・身辺処理は全般的に自立している。
- ・朝、起床するのが難しい時がある。
- ・疲れやすく、身体の不調を訴える傾向がある。
- ・余暇では1人でゲームをする、仲の良い友達と会話をして過ごしている。

（2） 社会性

- ・初対面の人に対し、自分の意思や状況を伝えることが苦手である。
- ・小学校時代から不登校であったため、社会性において経験不足なことが多く自ら予定を立て行動することが難しい。
- ・時と場にあった敬語を使用することが難しい。
- ・一方的な会話になってしまったり、相手の話を最後まで聞けずに拒絶したり反論してしまうことがある。
- ・初めて経験することや苦手なことから回避しようとする様子が見られる。
- ・1人で外出をすることが少ない。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

- ・自宅では殆ど母親と行動を共にしている。
- ・高校入学後、身の周りのことは行うようになった。
- ・母親としては、集団行動を通して色々なことを経験して欲しいと考えている。

4 課題の設定及び指導仮説

（1） 実態の整理

- ・初めて経験することや苦手なことから回避しようとする様子が見られる。
- ・初対面の人に対し、自分の意思や状況を伝えることが苦手である。
- ・小学校時代から不登校であったため、社会性において経験不足なことが多く自ら予定を立て行動することが難しい。
- ・1人で外出をすることが少ない。

（2） 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「卒業後に向けた社会性の向上」

(3) 指導仮説

本生徒は自宅では母親と行動を殆ど共にし、1人で外出することがない。寄宿舍では1人で外出をすることはなく、友達もしくは職員と外出している。小学校時代から不登校であったため社会性において経験不足なことが多いことや、初めての経験から回避する傾向があるため卒業後に必要と思われる社会経験を積むことで社会性の向上に繋がると考えた。

5 指導内容及び方法

(1) 美容室に行く。

- ・美容室に自分で予約の電話を入れる。予定の立て方、電話予約の際どのように相手に伝えるべきかを指導し身に付けさせる。
- ・美容室に1人で行き、どのような髪型にしたいか店員に伝える。希望の髪型を伝える手段として雑誌を持参させる。
- ・身だしなみとして、定期的に美容室に行くことを話し、次回自ら計画し実行できるよう促していく。

(2) 日用品を買いに行く。

- ・定期的に日用品が不足していないか自ら確認を行うことを習慣付けさせる。
- ・日用品が不足したら自分で買物の日時、行き先、予算を計画し買いに行く。
- ・日用品を予算内でどのように選択するのか事前に教える。

(3) 毎月貯金をする。

- ・毎月1000円を自分で貯金させることで、ATMの使い方を身に付けさせる。
- ・貯金を行うことで、金銭管理ができるよう指導していく。

6 指導経過

本生徒は小学校時代から不登校であった。本校入学後も帰舎することが難しい時期もあったが、現在は成功体験が増えたことで自信に繋がった事により、登校することができ寄宿舍の生活にも適応することができている。しかし、失敗体験後や人間関係が原因で精神的に不調を訴えることがあるため、本生徒の体調や精神面に考慮しながら今回この指導を進めていった。

(1) 美容室に行く。

現場実習前に身だしなみについて説明し髪を切ることの必要性について意識付けを図った。しかし、納得できていない面もあったため、今金町内の美容室であれば理髪代が奨励費の対象になることを説明し美容室へ行くことを勧めた。初めは戸惑いが見られたが美容室への電話予約の際にどのように伝えるかを教え、一人で電話をかけることができた。予約日に一人で美容室へ行くことができ、雑誌を持参することで希望の髪型を伝えることができた。2回目は雑誌を持参せず1人で美容室に行くことができるようになった。

2回一人で美容室に行くことができたが、いずれもこちらから美容室に行くよう提案して

いるため自ら計画し実行までは至ってない。今後はこちらから提案するのでは無く、自ら計画して美容室へ行くことができるように促して行く。

(2) 日用品を買いに行く。

日用品が不足すると自ら考え帰省した際に家庭から日用品を持って来るが、今金町内に本生徒が愛用している物が無いと理由で指導段階に到達していない。日用品に限定せず、外出の回数を増やすよう促して行く。

(3) 毎月貯金をする。

貯金を行うことに対して意欲的であり、自ら貯金額を2000円に増やしたいと申し出があったため2000円に増やしている。夏季休業や現場実習に行っていたのと、外出日の都合の関係で3ヶ月分をまとめて貯金をしに行くこともあったが、継続して行く事ができおりATMの使い方が身に付いてきている。今後もATM使用を継続させ、貯金をどのように使用していくかを考えさせ金銭管理ができるよう指導していく。

7 結果及び考察

(1) 美容室に行く。

1年間を通して1人で3回美容室に行くことができた。3回とも自ら電話で予約を行い、初めの1回のみ雑誌を持ち込み希望する髪型を伝え、後の2回は雑誌を持ち込まずに希望の髪型を伝えることができた。3回とも美容室に行くよう職員が提案をしたため自ら計画を立てることはできなかったが、予約の日時を自分で計画することができるようになった。

(2) 日用品を買いに行く。

日用品が不足していないか自ら確認を行うことは習慣付けできた。今金町内に本生徒が愛用する日用品は置いていなく家庭から持参してきているため買い物へ行こうとしなかった。日用品に限定せずお菓子を買うに行くよう促したところ2学期中は自ら必要予算を申し出て、日時など計画を立て2回ほど買い物に出かけることができた。

(3) 毎月貯金をする。

外出日の都合で2ヶ月分をまとめて貯金を行うこともあったが、月の初めになると意欲的に貯金に行く日を自ら計画を立て、継続して貯金をしに行くことによりATMの使い方を身に付けることができた。今後、貯金をどのように使用するのか考えさせると「何かあった時のように取っておく」と自ら決めていた。

今回の事例研究では本生徒が小学校時代は不登校であったこと、家庭では母親と行動を殆ど共にし、1人で外出することが少ないことから社会性において経験不足なことが多い。初めての経験から回避する傾向があり、卒業後に必要と思われる社会性を向上させるため指導を行ってきた。指導内容すべてにおいて抵抗感を感じていたようだが、外出する機会を作ったことにより寄宿舎から自ら買い物へ行く回数が増えた。特に貯金は月初めに自ら計画を立て意欲的に取り組むことができていた。成功経験から自信に結びつくことで、初めてのことや苦手なことも回避しようとはせず積極的に行動できるようになった。また、殆ど母親と行動を共にしていたが自信がついたことで、冬休み中に友達と遊びに行くなど今回の事例研究は本生徒の社会性の向上に繋がったと考えている。

事例報告

『身辺自立へ向けた指導』

報告者 Fグループ（佐藤友梨、生内希）

1 事例対象生徒

- ・学科 生活家庭科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…自閉症、知的障がい

2 対象生徒の実態

(1) 基本的生活習慣

- ・おおよその身辺処理はできているが、丁寧に行うことが難しく、職員の支援が必要な場面がある。
- ・歯磨きの際、奥歯や歯の上側などの細かい箇所の磨きが不十分なまま終わらせてしまうことが多い。
- ・着替えのあと、肌着が出てしまっていたり、襟が折れているなどの服装の乱れがあっても自分で気づき、直すことが難しい。
- ・整理整頓が難しく、使った物を出したままにしていたり、雑に片付けてしまうことがある。

(2) 社会性

- ・歌うことや踊ることが好きであり、人を楽しませようとする面が見られる。
- ・一人であることが多いが、人と関わることも好きであり、特に好意を持つ相手には顔を触るなどのスキンシップをとろうとする。
- ・人が怒っている場面やテレビの中の暴力シーンなどが苦手であり、見ると不安定になってしまうことがある。

3 保護者との連携(家庭での様子、保護者の意向)

- ・テレビを見て過ごすことが多いが、姉弟とチャンネル争いになってしまうことが多く、その中で物に当たったり、手が出てしまうなどの行動が見られている。
- ・家では親に頼った生活になってしまっているため、自分の身の回りのことをできるようになって欲しい。
- ・卒業後はグループホームに入所し、福祉的就労をする予定。

4 課題の設定及び指導仮説

(1) 実態の整理

- ・身辺処理を丁寧に行うことが難しい。
- ・歯磨きの際、細かい箇所の磨きが不十分なことがある。
- ・服装の乱れに気づき、直すことが難しい。
- ・整理整頓が難しく、雑に片付けてしまうことが多い。

(2) 課題の設定

以上の実態から下記の課題を設定することにした。

「身辺自立へ向けた指導」

(3) 指導仮説

本生徒は、家庭では家族に頼って生活しており、そのため経験不足から歯磨き、着替え、整理整頓などを丁寧に行うことが難しく、職員から言葉掛けを受けている。そして、これまでの生活の様子でも言葉掛けをされたことについて意識を持って行動するには至っておらず、また注意されたことについて改善しようとする気持ちを持つには至っていない。

本校を卒業後は家庭を離れ、グループホームに入所し福祉的就労をする予定であるので、身辺自立を向上させていく必要があると考える。そこで、課題を改善しようとする本人の気持ちを育成しながら、身辺自立に対する指導を行うことで、身辺自立の向上を図ることができ、グループホームでの生活役立てることができると考える。

5 指導内容及び方法

(1) 細かい箇所まで歯を磨くことができる。

- ・磨きにくい箇所を職員が本人の歯を実際に磨き、磨かなければならない場所だということを認識させた上で定着を図っていく。

(2) 服装の乱れに気づくことができる。

- ・服装が乱れていたときに、本人を全身鏡の前に立たせ、どこが乱れているかを本人に問い、自覚させてから直すように指導していく。

(3) 決められた場所に物を片付けることができる。

- ・物を置く場所を職員が指定し、箱や仕切りを使って指定された場所に戻すよう指導し、定着を図っていく。

6 指導経過

(1) 細かい箇所まで歯を磨くことができる。

職員が本生徒の歯を実際に磨く中で、歯の裏側や奥歯などの磨きにくい箇所も磨かなければならない場所だということ意識できるようになった。その後は職員が磨かなくても、言葉がけをすれば本人だけで磨くことができるようになった。また、学校で養護教諭と個別で歯磨きする場を設けていただき、歯磨き指導をしていただいたことで歯と歯茎の間、歯の裏側も磨くようになり、縦磨きをすることも覚えた。

しかし、職員がついている場ではしっかり行うものの、職員がいないと雑に終わらせてしまう。職員がいてもいなくても、歯はしっかりと磨かなければならないこと、虫歯や歯周病になって困るのは本人であるということを伝えた上で、1人でもしっかりと歯を磨くことができるように継続して指導する。

(2) 服装の乱れに気付くことができる。

肌着や下着が見えているときなどは、その都度職員が言葉がけをしたり、全身鏡の前に本人を立たせ、自分の服装を確認してから直すように指導してきた。言葉がけをするとその場で直すことができるが、自分で気付くことはまだ難しい状況である。今後は、洗面所や静養室、階段

上など鏡のある場所に来たときに身だしなみの確認をするように習慣づけていく。また、身だしなみのチェックリストを作成し、OKとNGを視覚化し、机の前に貼り出して着替えが終わった後に自分でチェックするように指導する。

- (3) 決められた場所に物を片付けることができる。

ロッカーの引き出しは小さいかごを使用し、下着や靴下類などを分類して入れるように指導している。また、机周辺についても、「カレンダー」、「箱ティッシュ」、「雑誌・本」など、物の置き場所を明記し、書かれてあるところに置くように指導している。置き場所を明記してある物については片付けることができるようになってきているが、明記していない物についてはそのまま机の上に置いておいてしまう。置き場所を明記していない物についても、それぞれ置き場所をこちらで指定した上で引き続き指導を行う。

7 結果及び考察

- (1) 細かい箇所まで歯を磨くことができる。

職員が本人の歯を実際に磨くことで、細かい箇所を磨かなければならない場所だと意識し、細かい箇所まで磨くことができるようになった。職員がついていないときには雑に歯磨きを終わらせてしまうこともあったが、本人が磨き終わってから職員が磨き残しがないか確認するようになったところ、その習慣が定着し、職員がいなくても他生に磨き残しがないか確認してもらうようになり、自分でも磨き残しについても意識する姿が見られた。

- (2) 服装の乱れに気づくことができる。

指導経過で、チェックリストを用意し、本人にチェックさせるように指導していくとしていたが、室担の準備不足により用意することができず、口頭のみでの指導になってしまった。口頭の指導の中で、全身鏡の前で本人に服装チェックをさせ、乱れているときには直すよう伝えてきた。なぜ服装が乱れているとダメなのかということも本人に説明し、肌着や肌が見られることは恥ずかしいことであり、他者を不快にさせることもあるということを伝えてきた。鏡の前で確認したときには直すことができるが、鏡のない場所、自分の目で確認できない場所で自ら服装の乱れに気づき、直すまでには至ることは難しかったので今後卒業まで、継続して指導していく。

- (3) 決められた場所に物を片付けることができる。

机の引き出しや棚に物の置き場所を明記し、明記されている物をその場所に置くように指導してきた。明記されている物は片付けることができるようになったが、置き場所が明記されていない物はそのまま机の上に置いてしまうことがあった。そこで、物が増える度に1つ1つ置き場所を指定し、明記することにより、置き場所を確認し、自ら片付けることができるようになった。

本生徒は卒業後、家庭を離れグループホームで生活をする予定であり、今回の事例研究として身近自立に関する指導、特に本生徒の課題である歯磨き、身だしなみ、整理整頓についての指導を行ってきた。歯磨きについては、細かい場所まで自分で磨くことができるようになり、磨き残しがないかを自分で意識できるようになった。身だしなみについては、自ら服装の乱れに気づくまで至らなかったが、気づいたとき、教えてもらったときには直すことができるようになった。本人が自ら気づくことができるよう、今後卒業までの期間も継続して指導していく。整理整頓については、物の置き場所を本人と確認したあとは自ら決められた場所に自ら片付け

ることができるようになり、その後は言葉がけをしなくても片付けることができている。

本生徒は指導されたことについて、一度では理解することが難しいこともあったが、繰り返し指導をすることで定着していく様子があり、本人なりに課題を改善しようという姿勢が見られた。その改善しようとする姿勢を褒めつつ、卒業まで継続して指導していくことが必要だと考える。

4 成果と課題

全体研修会には、勤務の関係上全職員が参加することは難しかったが、研修会の資料や記録をもとに個々でキャリア教育の在り方についての理解を深めた。

事例研究では、在学中に寄宿舎の指導により身についた生活習慣や技能が、卒業後、学生の時と違った環境でも変わらず維持、発揮できるよう、対象生徒の課題について研究を進めた。生徒に課題を意識させながら取り組み、課題解決の成果が得られた。

昨年度見直しを行った指導観点については、寄宿舎での指導の基本、指標として、個別の指導計画の作成や日常の指導実践の場で活用されている。生徒の動きや日課、寄宿舎でのきまりに沿い、より活用しやすくなるよう次年度に向けて更に見直しを行っていき、個別の指導計画や事例研究を進めていきたい。